

昭和十年一月

關東州廳及滿洲產
蘋果內地輸入禁止
經緯及解禁方法ニ就テ

關東州廳內務部殖產課

目次

- 一、内地輸入禁止ニ至レル經過
- 二、輸入禁止ニ對スル當廳ノ對策
- 三、臨時便法ニ依ル解禁ノ狀況
- 四、將來ニ於ケル解禁根本方針

(參考資料)

- 第一號 七月二十三日附農林省農產課長來翰寫
- 第二號 八月二日附拓務省殖產局長へ依頼文寫
- 第三號 八月三日農林省令第二十三號寫
- 第四號 八月四日關東長官ヨリ拓務大臣宛解禁依頼電報寫
- 第四號ノ二十一月五日農林省解禁案提示及其ノ回答寫
- 第五號 十一月二十一日臨時便法ニ依ル解禁協定文寫
- 第六號 十一月三十日附農林省令第二十九號寫
- 第七號 關東州輸出入植物取締規則案

以上

一、滿洲產苹果内地輸入禁止ニ至レル經過

昭和九年年初ニ於テ農林省カ未タ内地ニ其ノ發生ヲ見サル滿洲苹果
姫心喰虫ノ内地侵入防止ノ爲關東州及滿洲產苹果ノ輸入禁止ヲ行フ
ヘキ形勢ヲ觀取セルヲ以テ當時議會關係ニテ上京中ナリシ内務局長
及農事試驗場長ニ於テ禁止ヲ未然ニ阻止スヘク農林省當局ト打合セ
ヲ行ヒタルカ侵入防止ノ方法ニ就キ技術的ニ見解ノ相違アリテ同年
秋期ニ於テ農林省技術官ノ現地調査ヲ行ヒ其ノ上ニテ適當ナル防止
方法ヲ講スルコトトセリ

然ルニ同年七月二十八日農林省農產課長ハ別紙第一號ノ如キ書翰ヲ
内務局長宛送致シ最近内地ニ輸入シタル滿洲產（主トシテ關東州產
）苹果ニ害虫ノ附着セルヲ發見シ之ノ儘ニテ放置致シ難シトテ豫テ
ノ口約ヲ無視シ卽刻禁止ノ豫定ナル旨ヲ通知シ來レリ
當廳ハ直ニ斯ル農林省ノ背信的行爲ヲ遺憾トスル旨ヲ述ヘ豫テノ打
合通秋期ノ實地調査終了迄發令ヲ見合ハセラレタキ旨農林當局ニ打

1

電スルト共ニ別紙第二號ノ通り拓務省殖產局長宛之カ阻止方ヲ依頼
セリ

然ル所農林省農務局長ヨリ八月二日植物檢疫上遺憾乍ラ既定方針ノ
通遂行ノ外無キ旨回電シ來リ翌八月三日附別紙第三號ノ通り輸出入
植物取締法施行規則中改正ノ件ヲ公布シ八月十六日以降ノ輸入ヲ禁
止セリ

二、輸入禁止ニ對スル當廳ノ對策

右禁止ノ結果トシテ從來年額十五萬貫内外ノ内地輸入ヲ見ツツアリ
シ州内產苹果ハ販路ヲ閉鎖セラレ且州内ニ於ケル苹果ハ遂年急激ナ
ル増加ヲ見ツツアル際トシテ當業者ノ被ル損害ハ莫大ナルモノアリ
州内產業開發上影響スル所極メテ大ナルモノアルヲ以テ直ニ拓務大
臣宛別紙第四號ノ通り其ノ不當ナル旨ヲ訴ヘ之カ急速解禁方ヲ依頼
スルト共ニ在京文書課長ヲシテ拓務省ト協力シ農林省ニ省令撤廢方
交渉ヲ行ハシメ尙農林課長及農事試驗場技手其ノ他ヲ上京セシメ一

2

方民間營業者ヨリモ代表者數名上京シ各方面ニ禁止ノ不當ナルヲ力
説シタリ、然レ共農林省側ノ見解ニヨレハ本問題ハ何等政策的ノモ
ノニ非スシテ専ラ技術的問題ナレハ害虫侵入防止ノ方法ヲ發見スル
ヲ先決問題ト爲ストノ意見ヲ有シ居タルヲ以テ直ニ農林省技術官ノ
實地調査ヲ要求シタル所農林省ニ於テモ本申出ヲ承認シ八月二十日
東京出發往復四十五日ノ豫定ヲ以テ技師二名ヲ關東州ニ派遣セリ
右技師一行ハ八月二十四日到着ト共ニ金州ニ到リ當廳農事試驗場職
員ト共ニ害虫ノ生態調査、瓦斯燻蒸試驗等ヲ行ヒ九月末日迄ニ一連
リノ試驗ヲ了シ二硫化炭素燻蒸ニ依リ完全ニ殺虫ノ目的ヲ達シ得ル
ヲ確メタリ

三、臨時便法ニ依ル解禁ノ狀況

右試驗成績ニヨリテ完全ニ侵入防止ノ方法ヲ發見セルヲ以テ直ニ當
廳ハ輸出苹果燻蒸所ヲ設ケ且取締規則ヲ公布スヘク準備シ燻蒸濟苹
果ノ即時解禁方ヲ交渉セル所農林省ニ於テハ別紙第四號ノ二ノ如ク

3

内地ニ燻蒸所ヲ設置シ内地海港ニ於テ消毒スル計畫ヲ樹立シ其ノ經
費ヲ當廳ニ負擔セシメムトシ交渉纏ラス然レ共本件ハ急速解決ヲ計
ルニ非サレハ輸出時期ヲ失スル虞アルヲ以テ根本的ノ解決方針ハ追
テ協議決定スルコトトシ不取敢別紙第五號ニ依リ本年度内（昭和十
年三月三十一日迄）ニ限り農林省官吏ヲ大連ニ出張セシメ消毒ヲ施
行スルコトニ同意シ其ノ經費ハ總テ當廳ニテ負擔スルコトニ協定シ
昭和九年十一月三十日附別紙第六號ノ通り農林省令ヲ公布シ十月七
日ヨリ實施セララルニ至リ農林省ハ技師一、技手二名ヲ派遣シ大連
ニテ當廳海務局檢疫所消毒室ヲ改造補修シテ消毒ヲ行ヒツツアリ、
右消毒室ハ一日一回三百九十箱（一箱正味四貫匁入）ノ消毒能力ヲ
有シ十二月十日ヨリ開始シ本日（昭和十年一月二十二日）迄ニ約一
萬四千箱ノ消毒ヲ行ヒタリ

四、將來ニ於ケル解禁根本方針

昭和十年度ニ於テハ關東局特別會計ヲ以テ大連ニ植物檢查所ヲ設置

4

シ別紙第七號案ニ準シ輸出入植物取締規則ヲ公布シ内地向苹果ニ對シテハ特ニ嚴重ナル検査竝燻蒸消毒ヲ施行シ、滿洲苹果姫心喰虫ノ傳播防止上萬全ノ策ヲ講スヘキヲ以テ右ノ植物検査所ノ消毒濟證明アルモノニ對シテハ無條件ニテ解禁セララル様交渉セムトス
現ニ大連ニ於テ農林省出張員ノ燻蒸殺虫セル苹果カ内地輸入ニ際シ無條件ニテ許可セラレツツアルノ事實ヲ以テスレハ當廳カ新ニ關東州ニ植物検査制度ヲ施行シ病菌害虫ノ傳播防止ニ必要ナル施設ヲ行フ以上内地ニテ其ノ無條件輸入ヲ拒否スルノ理由ナカルヘシ
尙農林省ニ於テハ別紙第五號ニ於ケルカ如ク内地海港ニ於ケル消毒ヲ主張シツツアルモ右ハ設備及取扱等ニ種々ノ不利不便ヲ伴フヲ以テ當局ハ輸出地タル大連ニ於ケル消毒ヲ以テ之ニ替ヘントスルモノナリ

5

(參考資料第一號)

昭和九年七月二十三日

農林省農務局農產課長

問部 彰

關東廳 日下内務局長 殿

拜啓 炎暑ノ折柄愈々御清適ノ段奉賀候

陳者滿洲苹果姫心喰虫傳播防止ニ關スル苹果輸入取締問題ニ付テハ屢々御内談ノ次第モ有之當方ニ於テモ今日迄侵入防止手段ニ付専門家等ヲ集メ種々研究致候へ共乍遺憾只今ノ處ニ於テハ禁止ニ依ラスシテ而モ侵入防止ノ萬全ヲ期シ得ル方法ヲ發見シ難キヲ以テ不得已差當リ貴地其ノ他本虫發生地ヨリ苹果等ノ輸入ヲ禁止スルコトニ内定致シ關係法令モ近日公布相成筈ニ付右不惡御了知相成度從來特ニ御話ノ次第モ

有之豫メ御内報申上候

本件ハ屢々申上候通り當方トシテハ植物檢疫上ヨリノ必要以外絶對ニ他意無之若シ貴下ニ於テ植物檢疫ノ精神ヲ案セラレ而カモ當方ト立場ヲ異ニシテ本件ヲ御考慮相成タル場合ハ今回ノ措置ニ付必スヤ御了解ヲ得ヘキコトト信居候今後ノ研究ニ依リ植物檢疫上ノ見地ヨリ本虫防止上安全ト認メラルル方法ノ發見セラレタル場合ハ禁止ニ代フルニ其ノ方法ヲ以テスルコトニ躊躇致スモノニ無之候

敬 具

先ハ右御内報迄申述度如此御座候
追テ本秋當方ヨリモ技術者ヲ貴地ニ派シ本虫ニ關シ調査致度所存ニ付其ノ際ハ可然便宜御取計願上度申添候

(參考資料第二號)

昭和九年八月二日

内 務 局 長

拓務省殖産局長宛

滿洲苹果輸入禁止ニ關スル件

這回農林省ニ於テ突如滿洲苹果姬心喰虫ノ内地侵入防止ノ目的ヲ以テ關東州其ノ他該虫發生地ヨリノ苹果輸入禁止ヲ行ハムトスルニ至リ貴省ノ御配慮ヲ煩ハス事ト相成候ニ就テハ從來ノ經過ノ概要ヲ述ヘ一層ノ御盡力ヲ御願致度存候今回侵入防止ノ目的トナレル滿洲苹果姬心喰虫ハ州内果樹園ニ相當發生シ被害モ尠カラサルモノニ有之候處該虫ハ九月上旬迄ニハ果外ニ逸出シ輸出期ノ果實中ニ潛在スルモノ無キヲ以

テ從來餘り問題トセラレサリシモ最近生産ノ増加ニ伴ヒ早期輸出（八月、九月）増加ヲ見ルニ至リ問題ヲ惹起シ昨年八月朝鮮總督府カ輸出入植物取締規則ヲ制定シタル前後ヨリ新聞紙上其ノ他ヨリ近ク滿洲蘋果ノ内地輸入禁止ノ行ハレントスル狀勢ヲ察知シタレハ本春本官及中富農事試驗場長上京ノ際農林當局ニ實否ヲ質シタルニ右計畫ノ事實ナルヲ聞キ輸入蘋果検査豫算不通過ノ場合ハ一舉輸入禁止ヲ行フヤモ計ラレストノコトニテ夫レカ對策ヲ講究セルカ當廳側ノ意見ト農林省側ノ意見ト一致セス當廳ハ燻蒸ニ依ル品質竝貯藏力ヲ損スルヲ虞レ肉眼検査ト害虫ノ果内潜在期タルハ、九月中ノ輸入禁止ヲ主張シ農林省ハ二硫化炭素燻蒸ヲ主張セリ而シテ本問題ハ本秋農林省ヨリ現地ニ技術官ヲ派遣シ實地調査セシメテ解決ヲ計ルコトトナレリ（右ハ書面ヲ以テ往復セルニ非スシテ中富場長ト農林省側トノ口頭ニ依ル協議ナリ）依リテ當廳ニテハ問題ノ解決ハ本秋ノ實地調査ニ在リトシテ若シ當廳ノ主張貫徹セサル場合ハ農林省側ノ意見ニ從ヒ燻蒸ニ依ラサルヘカラ

サル爲ト一面早期輸出カ或程度販賣上有利ナル點アルニ鑑ミ之カ對策トシテ本年七月該虫ノ發生期ニ於テ燻蒸試驗ヲ施行シタル結果蘋果ノ品質ヲ害スルコトナク而モ殺虫ノ目的ヲ達シ得ヘキヲ認メタリ尙一面輸出蘋果取締規則公布ノ準備ヲ行ヒ輸出蘋果ノ検査ヲ行ヒ害虫附着果ノ輸出ヲ阻止スヘク準備ナリシモノナリ然ルニ七月二十三日附農林省農產課長書翰ニ依リ突如近ク禁止法令ノ公布アル旨通報ニ接シ大イニ驚キ早速關係當路ニ打電シ之カ阻止方ヲ依頼セル次第ニ有之候
事情以上ノ如クシテ若シ輸入禁止行ハルルニ於テハ州内及滿鐵附屬地邦人農業者ノ死活問題ナレハ出來得レハ今秋ノ實地調査後ノ發令ヲ希望スルモ萬已ムヲ得サル場合ハ當廳ノ輸出蘋果取締規則ニ依ル検査合格品ノ除外例ヲ設ケラルル様極力御交渉相煩度御依頼申上候
尙必要ニ依リテハ係官ヲ派遣シ問題ノ折衝ニ當ラシメ度所存ニ有之候

以上

追テ農事試驗場ニ於ケルニ硫化炭素燻蒸成績同封致置候條御覽被下度

(參考資料第三號)

農林省令第二十三號

輸出入植物取締法施行規則中左ノ通改正ス

昭和九年八月三日

農林大臣

別表第九號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

(上欄) 一〇、關東州、滿洲國、中華民國

(中欄) 苹果其ノ他苹果屬植物及山楂子屬植物ノ生果實

(下欄) 滿洲苹果姬心喰虫

附 則

本令ハ昭和九年八月十六日ヨリ之ヲ施行ス

備考 (上欄) ハ番號及地域 (中欄) ハ植物名

參 照

(下欄) ハ防止目的ノ病害虫名

輸出入植物取締法施行規則

第一條ノ二 別表ニ掲クル地域ヨリ發送シ又ハ之ニ陸揚シタル植物ニシテ各其ノ相當ノ欄ニ掲クルモノ及其ノ容器包裝ニ使用シタル物ハ之ヲ輸入又ハ移入スルコトヲ得ス但シ試験研究ノ用ニ供スル爲農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ規定ニ違反シテ輸入又ハ移入シタルモノハ之ヲ收受スルコトヲ得ス

(參考資料第四號)

昭和九年八月四日

關 東 長 官

拓務大臣宛 電報

滿洲苹果輸入禁止ノ件農林省令ヲ以テ公布セラレタル趣ノ處苹果ハ當方主要農産物ニシテ其ノ増産品質改良及販路開拓ニ關シテハ多年官民苦心セル處ニシテ最近ニ至リ其ノ聲價漸ク内地ニモ認めラレ年々内地輸入數量増加シツツアルノ狀況ナルヲ以テ之カ輸入禁止ハ當方産業開發上支障不尠殊ニ邦人農業者ニ與フル打撃甚大ナリ而シテ輸入禁止ノ理由トセラルル害虫ニ付テハ當方ニ於テハ農林省ト協議ノ上適當ナル驅除及検査ヲ施行スルノ用意アルヲ以テ右驅除及検査方法ノ決定並検査合格品ノ輸入許可方ニ關シ至急當方要望達成スル様御配慮相煩度

(參考資料第四號ノ二)

昭和九年十一月五日

拓務省農林課長

關東州農林課長宛

「至急親展」電報

「殖農九三五」關東州産苹果ノ輸入解禁促進方ニ付テハ農林省ト種々交渉中ノ所、本日同省農産課長ヨリ(肉眼検査證明付ニテ輸入セルモノニ就キ門司税關ニ燻蒸設備ヲナシテ燻蒸ヲ行フコトトシテ解禁シタキ意嚮ニシテ之カ爲三〇坪ノ定温装置附燻蒸室ヲ建設スルノ要アリ右ニ要スル經費ハ約四三、〇〇〇圓ノ見込アルモ豫備金等ヨリ支出セシムルニハ大藏省方面ニ難色アリ、若シ適當ナル方法ヲ以テ右設備ヲ貴方ニ於テ負擔セララルコトヲ得ハ解禁促進ニ關シ大藏省方面トノ交

涉モ比較的容易ニ進行スヘキ見込ナリ尙差當リノ應急施設トシテ右設備ノ完成ヲ見ルヘキ本年末頃迄ノ間ハ門司ニ現存スル容量一五〇箱程度ノ小燻蒸室ヲ利用シテ燻蒸ヲ行ヒタキ意嚮ナリトノ内交渉ヲ受ケタルカ右經費ヲ貴方ニ於テ負擔シ得ラルルヤ若シ全額負擔不可能ナリトセハ其ノ分擔可能見込額至急内報相成タシ

昭和九年十一月七日

農 林 課 長

拓務省殖産局農林課長 宛

(親展電報)

殖産第九三五貴電拜承 苹果ノ検査及燻蒸ヲ大連ニテ施行スルハ輸送上最モ便ナリト認メラレ農林省申出ノ如ク門司ニ於テ燻蒸ヲ行フトスレハ神戸、大阪、名古屋其ノ他各港向ノモノ及南洋向輸出苹果モ全部一旦門司ニ陸揚ケヲ要シ運賃、積替等ニ付多大ノ不利不便ヲ免レサルノミナラス旅客ノ携帯品ハ事實上禁止ニ等シキ結果トナルヲ以テ速ニ同意シ難ク從テ燻蒸室倉庫等ノ建築費ノ負擔ニ付テモ確答致シ兼ヌルニ付御了知ヲ乞フ當廳ニテハ既ニ検査所規程及輸出苹果取締規則等長官ノ決裁ヲ經タルニ付解禁ト同時ニ公布スヘク又本年度所要經費ハ

地方費追加豫算ニテ支辦スルコトトシ万端ノ準備ヲ了シタルヲ以テ至
急解禁セラルル様此ノ上トモ御折衝相煩度

殖農第九三五號

昭和九年十月三十一日

拓務省殖産局長 北島謙次郎

關東廳内務局長 日下辰太殿

滿洲産苹果ノ輸入解禁ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ本月五日附關農第二二九四號ノ二ヲ以テ御申越ノ趣了
承直チニ農林省ニ交渉ノ結果輸入解禁ニ關シテハ二十八日附電報ヲ以
テ御通知申上候次第ナルカ解禁ノ方法及之カ經費支辦ニ付キ左記ノ通
諸案ヲ有シ未タ最后案ノ確定ヲ見ス從ツテ解禁ノ期日等ハ不明ナルモ
目下農林省ニ於テ可及的速ニ實施方銳意考究中ナル趣ニ付本件ノ經過
一應及通知候

記

一、解禁ノ方法

- (一) 現地ニ於テ燻蒸ヲ行ヒ内地ニ於テハ單ニ輸入検査シテ爲ス
- (二) 現地ニ於テ燻蒸ヲ行ヒ農林省技術官ヨシテ之ニ立會ハシテ
- (三) 現地ニ於テ適當ナル輸出取締ヲ行ヒ内地輸入時際之カ燻蒸ヲ行フ

一、經費

前記(一)、(二)、(三)案ノ何レニ據ルモ内地側トシテ(一)定經費ヲ計上セシムルニ必ズ要トシ之カ支出ヲ豫備金ニ求ムヘキヤ追加豫算トシ臨時議會ニ提出スルニ至ラズニテスヘキヤ或ハ通常議會ニ提出スルノ外ナキヤ等財政技術上議論アリ提出スルニ得

記

一、解禁ノ方法

- (一) 現地ニ於テ燻蒸ヲ行ヒ内地ニ於テハ單ニ輸入検査シテ爲ス
- (二) 現地ニ於テ燻蒸ヲ行ヒ農林省技術官ヨシテ之ニ立會ハシテ
- (三) 現地ニ於テ適當ナル輸出取締ヲ行ヒ内地輸入時際之カ燻蒸ヲ行フ

一、經費

前記(一)、(二)、(三)案ノ何レニ據ルモ内地側トシテ(一)定經費ヲ計上セシムルニ必ズ要トシ之カ支出ヲ豫備金ニ求ムヘキヤ追加豫算トシ臨時議會ニ提出スルニ至ラズニテスヘキヤ或ハ通常議會ニ提出スルノ外ナキヤ等財政技術上議論アリ提出スルニ得

(參考資料第五號)

昭和九年十一月二十六日

内務局長

拓務次官宛 電報

二十二日附殖農第九三五號ヲ以テ御照會ノ苹果輸入解禁ノ件ハ將來ニ對スル根本方針ハ追テ農林省ト協議ノ上之ヲ決定スルコトトシ今般申出ノ四項目ニ關シテハ臨機ノ措置トシテ已ムヲ得サルモノト認メラルルニ付此ノ旨農林省へ御回答ノ上至急實現方御配慮相煩度

殖農第九三五號

昭和九年十一月二十二日

拓務次官 坪 上 貞 二

關東長官 菱 刈 隆 殿

關東州及滿洲國產苹果輸入解禁ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ農林省ヨリ別紙寫ノ通申越候條右御了知ノ上何分ノ儀
至急御回示相煩度此段及照會候也

九農第一四五七五號

昭和九年十一月二十一日

農林次官 長 瀬 貞 一

拓務次官 坪 上 貞 二 殿

關東州及滿洲國產苹果輸入解禁ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ豫テ申進置候處今同ノ措置ハ全ク已ムヲ得サルニ
出タル臨機ノ措置ニ有之將來ハ恒久的施設トシテ内地海港ニ於テ消毒
ヲ行フノ本則ニ復歸スル次第ニ有之候條右篤ト御了知相成度
尙本件ハ左記ニ依リ實施致度ニ付何分ノ儀至急御回示相成度此段及照
會候也

記

- 一、昭和十年三月三十一日迄ニ關東州ニ於テ農林省官吏ノ行フ消毒ヲ受ケ其ノ證明書ヲ有スル苹果ニ限リ輸入ヲ認ムルモノナルコト
- 二、關東廳ハ農林省ノ必要ト認ムル設備、人員及物件ノ提供ヲ爲スコト設備ニ關スル細目ハ別ニ之ヲ定ムルコト
- 三、消毒ニ關スル諸般ノ手續等ニ關スル細目ハ別ニ之ヲ定ムルコト
- 四、關東廳ニ於テ内地向苹果ノ輸出取締ヲ爲ス場合ハ農林省ニ打合せヲ爲スコト

(參考資料第六號)

農林省令第二十九號

輸出入植物取締法施行規則中左ノ通改正ス

昭和九年十一月三十日

農林大臣 山崎 達之 輔

別表第十號植物ノ欄ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ關東州産ノ苹果ノ生果實ニシテ昭和十年三月三十一日迄ニ農

林大臣ノ適當ト認ムル消毒ヲ受ケタルモノヲ除ク

附 則

本令ハ昭和九年十二月七日ヨリ之ヲ施行ス

(參考資料第七號)

關東州輸出入植物取締規則(關東局令)案

第一條 植物ヲ輸入又ハ輸出セムトスルモノハ本令ニ依リ關東植物検査所(以下單ニ検査所ト稱ス)ノ検査ヲ受クヘシ

前項ノ規定ニ依リ検査ヲ受クヘキ植物左ノ如シ

一 輸入スル植物ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

(一) 植物及其ノ部分ニシテ栽植培養ノ用ニ供スルモノ

(二) 種子地下莖及根ニシテ繁殖ノ用ニ供スルモノ

二 輸出スル植物ニシテ輸入地官憲ニ於テ輸出地官憲ノ検査證明ヲ必要トスルモノ

第二條 前條第一項ノ検査ハ輸入又ハ輸出セムトスル植物及其ノ容器又ハ其ノ包装ニ用フル物ニ付之ヲ行フ

植物検査官吏ハ検査ヲ爲ス場合ニ於テ植物ヲ害スル菌類又ハ虫類(以下單ニ病菌又ハ害虫ト稱ス)ノ附着セル處アリト認ムルトキハ前

項ニ掲ケサル物ニ付テモ検査ヲ爲スコトヲ得

第三條 第一條ノ規定ニ依リ検査ヲ受クヘキ植物ヲ輸入セムトスル者ハ其ノ植物ヲ積載シタル船車又ハ航空機ノ到着後遲滯ナク第一號樣式ノ書面ヲ以テ検査所ニ検査ノ申請ヲ爲スヘシ但シ旅客ノ携帯ニ係ルモノニ付テハ口頭ヲ以テ検査ノ申請ヲ爲スコトヲ得

輸出地ノ官憲ニ於テ病菌又ハ害虫ノ附着セサルコトヲ證明シタル検査證ヲ有スル植物ニ付テハ輸入ノ検査ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

第四條 第一條ノ規定ニ依リ検査ヲ受クヘキ植物ヲ輸出セムトスル者ハ第二號樣式ノ書面ヲ以テ検査所ニ検査ノ申請ヲ爲スヘシ

第五條 病菌又ハ害虫ヲ輸入セムトスル者ハ第三號樣式ノ申請書ヲ検査所ヲ經由シテ滿洲國駐劄特命全權大使ニ差出スヘシ

病菌又ハ害虫ハ通常郵便ニ依リ輸入スルコトヲ得ス

第六條 前條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル病菌又ハ害虫ヲ輸入セムトスルトキハ其ノ病菌又ハ害虫ノ到着後遲滯ナク検査所ノ検査

ヲ受クヘシ

前項ノ検査ヲ受ケムトスル者ハ第四號様式ノ申請書ヲ検査所ニ提出スヘシ

第七條 植物検査官吏ハ第三條第一項又ハ前條第二項ノ申請前ト雖検査ヲ爲スコトヲ得

第八條 第三條第一第四條又ハ第六條第二項ノ申請ヲ爲シタル者ハ植物検査官吏ノ指揮ニ從ヒ検査ヲ受クヘキ物又ハ検査ヲ受ケタル物ノ運搬荷解荷造其ノ他ノ處置ヲ爲スヘシ

第九條 検査ノ結果病菌又ハ害虫附着スト認メタル植物其ノ他ノ物ハ之ヲ輸入又ハ輸出スルコトヲ得ス但シ検査所ニ於テ消毒ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

植物検査官吏病菌又ハ害虫傳播ノ虞アリト認ムルトキハ植物其ノ他ノ物ニ對シ消毒其ノ他必要ナル處置ヲ爲スコトヲ得但シ當事者ニ於テ病菌又ハ害虫傳播ノ虞ナキ方法ニ依リ處置センコトヲ請フトキハ

之ヲ許可スルコトヲ得

第十條 植物検査官吏ハ本令ノ検査ヲ受クヘキ植物其ノ他ノ物ヲ積載シ又ハ積載セル疑アル船車又ハ航空機ニ臨檢スルコトヲ得

第十一條 別ニ告示スル地ヨリ發送シ又ハ之ヲ經由スル植物又ハ病菌若ハ害虫ノ附着セル虞アル物ヲ輸入セムトスル者ハ滿洲國駐劄特命全權大使ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クヘキ植物及病菌又ハ害虫ノ附着セル虞アル物ハ別ニ之ヲ告示ス

第十二條 植物検査官吏検査ノ結果支障ナシト認ムルトキハ輸入スルモノニ在リテハ第五號様式ノ證票又ハ證印ヲ附シ輸出スルモノニ在リテハ第六號様式ノ證明書ヲ交付スヘシ

植物検査官吏第三條第二項ノ規定ニ依リ検査ヲ省略シタルトキハ第七號様式ノ證票又ハ證印ヲ附スヘシ

第十三條 郵便局又ハ鐵道船車其ノ他運輸業者ハ本令ノ規定ニ依リ輸

入ニ付検査ヲ受クヘキ物ヲ包容スル小包郵便物又ハ荷貨物ノ遞送ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ検査所ニ通知スヘシ

前項ノ郵便物又ハ荷貨物ノ検査ハ郵便局員又ハ之ヲ通知セル運輸業者立會ノ上之ヲ行フヘシ

第十四條 植物検査官吏第九條第二項ノ規定ニ依ル處置ノ爲植物其ノ他ノ物ヲ著シク毀損シタルトキハ第三條第一項第四條若ハ第六條第二項ノ申請ヲ爲シタル者又ハ前條第一項ノ通知ヲ爲シタル郵便局若ハ運輸業者ニ之ヲ通知スヘシ

第十五條 第九條第二項ノ處置ニ必要ナル費用ハ當事者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 詐偽ノ行爲ヲ以テ検査ヲ免レタル者
- 二 検査ヲ受クルニ當リ詐偽ノ行爲アリタル者

三 第一條第一項第三條第一項第五條第一項第六條第八條第九條第一項及第十一條第一項ノ規定ニ違反シタル者

四 第五條第一項又ハ第九條第二項但書ノ場合ニ於テ許可ノ條件ニ違反シタル者

第十七條 未成年者又ハ禁治産者カ本令ニ違反シタルトキハ本令ニ定ムル罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 法人ノ代表者法人若ハ人ノ代理人使用人其ノ他ノ從業者又ハ人ノ戸主家族若ハ同居者カ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ本令ニ定ムル罰則ハ其ノ法人又ハ人ニ對シテ之ヲ適用ス

附 則

本令ハ昭和 年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年關東廳令第三號果樹及櫻樹輪移入取締規則ハ之ヲ廢止ス

(様式略ス)